

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-3 文化を守り、はぐくむ
施策	3-3-1 文化・芸術の振興

指標NO 85

指標名	この1年間に、文化・芸術活動を行ったことがある	単位	%
-----	-------------------------	----	---

担当局 (区)	市民局
------------	-----

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	21.0	23.0	25.0	X
現状値	19.3	17.9	—	—	

目標設定の考え方	文化芸術振興計画推進に伴う文化芸術関連事業数の増加などを図ることとし、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】

文化芸術振興計画を推進することで、文化芸術活動に触れる機会の創出や、文化芸術活動者の増加を目指しているが、平成26年度末目標値の21.0%に達成はできなかった。原因としては、文化芸術の裾野を広げる趣旨から、多くの市民に文化芸術にふれあう場や機会の提供として、これまで鑑賞事業を展開の中心として進めてきたが、事業の内容が若い世代を対象とした内容やPRとしては弱かったため、年齢別の差が開いたと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

平成28年度から第2次文化芸術振興計画を推進するにあたり、文化芸術振興施策の軸を鑑賞型から活動・行動型へシフトしていく。具体的には、様々なワークショップの実施により、文化芸術の間口を広くするとともに、千葉市文化センターを市の文化振興の拠点施設として位置付け、舞台芸術の振興のみならず、諸室を活用した幅広い事業展開を目指し、多くの市民の活動・行動意欲が湧き、あらゆる世代の市民が、文化による自己表現の場に触れ、共感を生み、つながり、文化を創り出す力にあふれたまちを目指す。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----	------

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	文化芸術振興計画推進	文化芸術関連事業の実施	70件	10件増	80件	70件	未達成	614,742	
2	千葉市民会館等文化施設管理運営(市民会館)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	360,109人/年	401,594人/年	401,594人/年	344,358人/年	未達成	389,704	
3	千葉市民会館等文化施設管理運営(文化センター)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	229,826人/年	244,494人/年	244,494人/年	214,202人/年	未達成	658,382	
4	千葉市民会館等文化施設管理運営(美浜文化ホール)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	121,354人/年	122,767人/年	122,767人/年	131,033人/年	達成	354,806	

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-3 文化を守り、はぐくむ
施策	3-3-1 文化・芸術の振興

指標NO 86

指標名	文化・芸術に触れる場や機会を身近に感じる	単位	%
-----	----------------------	----	---

担当局(区)	市民局
--------	-----

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	35.0	37.5	40.0	X
現状値	32.5	27.4	—	—	

目標設定の考え方	あらゆる世代の市民が文化・芸術に触れられる機会を充実することとして、目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】

あらゆる世代の市民が文化・芸術に触れられる機会を充実するため、文化施設の利用促進等の文化振興施策を推進してきたが、平成26年度末目標値の35.0%の目標は達成できなかった。細かく分析すると、イベントや文化施設の多い中央区では1ポイント上がったが、その他の区では、美浜区の-10.8ポイントをはじめとし、平均で約5ポイント下がった。今後は、多くの場で文化・芸術に触れられる機会を創出する必要がある。

【課題及び今後の取組みの方向性】

本指標を底上げするためには、多くの場で文化・芸術に触れられる機会を充実させが必要となる。具体的な対策の例としては、平成26年度から、気軽に楽しめるワンコインコンサートを文化施設だけでなくコミュニティセンターや民間が所有する会場等の様々な場所で実施し、地域の偏りをなくすとともに、実施回数を増やす取組みを行っているので、それを継続し、かつ、より周知を図ることで、指標の向上に努める。

また、平成28年度から第2次文化芸術振興計画を推進するにあたり、あらゆる世代が文化芸術に触れ、身近な所で楽しさや面白さを共感できるような事業展開を図り、指標の向上に努める。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----	------

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	文化芸術振興計画推進	文化芸術関連事業の実施	70件	10件増	80件	70件	未達成	614,742	
2	千葉市美術館施設管理運営	施設の管理・運営(入場者数)	104,000人/年	107,000人/年	107,000人/年	145,972人/年	達成	626,590	
3	千葉市民会館等文化施設管理運営(市民会館)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	360,109人/年	401,594人/年	401,594人/年	344,358人/年	未達成	389,704	
4	千葉市民会館等文化施設管理運営(文化センター)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	229,826人/年	244,494人/年	244,494人/年	214,202人/年	未達成	658,382	
5	千葉市民会館等文化施設管理運営(美浜文化ホール)	文化施設の管理・運営(総利用者数)	121,354人/年	122,767人/年	122,767人/年	131,033人/年	達成	354,806	
6	文化事業等補助金(地域文化活性事業)	「ペイサイドジャズ千葉」の費用の一部を補助(来場者数)	11,271人	1,691人増	12,962人	14,290人	達成	33,841	

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	3-3 文化を守り、はぐくむ
施策	3-3-1 文化・芸術の振興

指標NO 87

指標名	文化ホール入場者数	単位	人
-----	-----------	----	---

指標の説明	若葉文化ホール及び美浜文化ホールの年間入場者数	担当局(区)	市民局
-------	-------------------------	--------	-----

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	132,000	135,000	138,000	
現状値	129,187	112,746	—	—	×

目標設定の考え方	文化ホールの認知度の向上と利用の促進を図ることとし、目標値を設定した。
----------	-------------------------------------

【達成状況の分析】

平成26年度末は目標値の132,000人を達成できなかったが、これは、若葉文化ホールが平成26年11月～平成27年3月の4か月間空調設備工事のため休館したことによるものが大きいと考えられる(参考:平成24年度末値 130,451人 平成25年度末値 131,886人)。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後、指標を伸ばすには、これまで行ってきた利用促進策に加え、稼働率の低い平日について検討する必要がある。料金の平日割引など、利用促進策を検討・実施し、指標の向上に努める。

指標を構成する事業 計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
-----	-----	--------	--------	------	--------	--------	----	-----	------

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24～26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	文化芸術振興計画推進	文化芸術関連事業の実施	70件	10件増	80件	70件	未達成	614,742	
2	若葉文化ホール管理運営	施設の運営・管理(入場者数)	49,954人/年	51,000人/年	51,000人/年	31,735人/年	未達成	187,029	
3	美浜文化ホール管理運営	施設の運営・管理(入場者数)	79,233人/年	81,000人/年	81,000人/年	81,011人/年	達成	354,806	

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	3-3 文化を守り、はぐくむ
施策	3-3-1 文化・芸術の振興

指標NO 88

指標名	千葉市美術館入場者数	単位	人
-----	------------	----	---

指標の説明	年間入場者数	担当局(区)	市民局
-------	--------	--------	-----

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	107,000	110,000	113,000	○
現状値	104,000	145,972	—	—	

目標設定の考え方	千葉市美術館及び展覧会の認知度の向上と利用の促進を図ることとして、目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】

平成26年度は、企画展「赤瀬川原平の芸術原論 1960年代から現在まで」の入場者が18,127人となったことを筆頭に、12回開催した企画展・所蔵作品展の平均入場者数が1万2千人を超え、魅力的な展示事業を開催できたため、目標を大きく超えて達成できたと考えられる。

【課題及び今後の取組みの方向性】

今後も、魅力的な展示事業が開催できるよう、調査研究を行うとともに、効果的な広報に努め、市民が文化・芸術に身近に触れられる機会の充実を図る。

指標を構成する事業

計画事業								(千円)	
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	文化芸術振興計画推進	文化芸術関連事業の実施	70件	10件増	80件	70件	未達成	614,742	
2	千葉市美術館施設管理運営	施設の管理・運営(入場者数)	104,000/年	107,000/年	107,000/年	145,972人/年	達成	626,590	
3	ミュージアム・トライアングル	相互割引などの取組み	実施	実施	実施	実施	達成	0	

政策評価シート【個票:生活実感・行動指標】

施策の柱	3-3 文化を守り、はぐくむ
施策	3-3-2 文化的財産の保全と活用

指標NO 89

指標名	市の歴史や文化財に愛着を感じる	単位	%
-----	-----------------	----	---

担当局 (区)	教育委員会事務局
------------	----------

区分	H23末 現状値	H27中間評価 (H26末値)	H30中間評価 (H29末値)	H34最終評価 (H33末値)	達成状況
目標値	—	41.5	47.5	50.0	
現状値	39.9	38.3	—	—	×

目標設定 の考え方	引き続き、博物館や文化財、郷土芸能などを活用した事業を展開するともに、国に申請予定である加曾利貝塚の特別史跡指定や関連する取組みなどにより、市民の歴史や文化財への愛着を向上させることとして目標値を設定した。
--------------	---

【達成状況の分析】

指標となるアンケート結果をみると「どちらともいえない」が34.6%にのぼり、関心のない市民が多い状況がうかがえる。とくに市内在住期間との関連性が顕著であり、在住期間が短い回答者ほど「どちらともいえない」と回答する比率が高くなっている。
市外から転入してきた市民が市の歴史や文化財に触れる機会を創出できていないため、十分な効果を挙げていない可能性が高い。

【課題及び今後の取組みの方向性】

現在、博物館や埋蔵文化財調査センターで進めている取組みは、市の歴史や文化財への関心を深めることを目的とした事業が中心となっている。市民に愛着を感じてもらうために必要な事業であるが、その前提として、まず関心を持ってもらうための取組みを強化する必要がある。
新たに市内へ転入してきた市民、歴史や文化財に関心のない市民が博物館や埋蔵文化財調査センターへ足を運ぶような事業の企画、PRを今後、進めていく。

指標を構成する事業

計画事業								(千円)
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	加曾利貝塚の出土資料整理	出土資料の再整理	—	実施	完了	完了	達成	38,151
2	博物館の耐震改修	加曾利貝塚博物館耐震補強	—	工事	工事	中止	中止	9,083
3	文化財等の保存・活用の推進	旧検見川無線送信所	—	文化財調査	文化財調査	文化財調査	達成	4,128

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	郷土博物館運営事業	入館者数	33,216人	102,334人	34,555人	37,018人	達成	4,108
2	加曾利貝塚博物館運営事業	入館者数	16,755人	51,632人	17,435人	9,975人	未達成	10,710
3	市指定文化財・登録文化財の指定・登録	指定・登録件数	54件	6件	60件	57件	未達成	0
4	埋蔵文化財調査センター運営事業	普及事業(利用者数)	8,018人	24,500人	8,500人	8,279人	未達成	5,043

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	3-3 文化を守り、はぐくむ
施策	3-3-2 文化的財産の保全と活用

指標NO	90
------	----

指標名	市指定・登録文化財の件数	単位	件
-----	--------------	----	---

指標の説明	市指定文化財件数および市登録文化財(地域文化財)の件数	担当局(区)	教育委員会事務局
-------	-----------------------------	--------	----------

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	60	65	70	
現状値	54	57	—	—	△

目標設定の考え方	文化財所有者との協議などを進め、今後も着実に件数を増加させることとして目標値を設定した。
----------	--

【達成状況の分析】

平成24年度以降、建造物や郷土芸能の指定・登録に向けて検討・準備を進めてきたが、「五十石遺跡出土把手付中空円面硯附盤1点(ごじゅっこいせきしゅつどとつづきちゅうくうえんめんけんつけたりばんいってん)」「中鹿子第2遺跡出土土偶(なかかのこだいにいせきしゅつどどぐう)」「検見川神社の神楽・祭囃子(けみがわじんじやのかぐらまつりばやし)」の3件増にとどまった。要因としては、文化財の価値についての調査や所有者・保持団体との調整に時間を要したため、目標とする指定・登録数には達しなかった。

【課題及び今後の取組みの方向性】

建造物や郷土芸能のみを対象として検討・準備を進めた場合、調査や調整に時間を要してしまうため、目標値の達成は難しい。市の指定・登録の要件を満たす未指定の考古資料は多数存在するため、今後検討対象を広げることで目標値の達成を目指していく。

指標を構成する事業

計画事業 (千円)								
No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費
1	郷土博物館運営事業	入館者数	33,216人	102,334人	34,555人	37,018人	達成	4,108
2	加曾利貝塚博物館運営事業	入館者数	16,755人	51,632人	17,435人	9,975人	未達成	10,710
3	市指定文化財・登録文化財の指定・登録	指定・登録件数	54件	6件	60件	57件	未達成	0
4	埋蔵文化財調査センター運営事業	普及事業(利用者数)	8,018人	24,500人	8,500人	8,279人	未達成	5,043

政策評価シート【個票:客観指標】

施策の柱	3-3 文化を守り、はぐくむ
施策	3-3-2 文化的財産の保全と活用

指標NO 91

指標名	博物館の入館者数	単位	人
-----	----------	----	---

指標の説明	加曾利博物館及び郷土博物館の入館者数及び行事等の参加者数の年度ごとの延べ人数	担当局(区)	教育委員会事務局
-------	--	--------	----------

区分	H23末現状値	H27中間評価(H26末値)	H30中間評価(H29末値)	H34最終評価(H33末値)	達成状況
目標値	—	52,000	58,000	60,000	
現状値	49,971	55,518	—	—	○

目標設定の考え方	展示内容の充実や他文化施設等との連携、加曾利貝塚の国特別史跡指定を目指すことなど、話題性のある情報を積極的に発信することで、市民だけでなく広く市外からの入館者も見込むものとして目標値を設定した。
----------	---

【達成状況の分析】

平成26年度は、郷土博物館の来場者はH23年度から約3,800人増え37,018人であった。また、史跡加曾利貝塚の特別史跡指定に向けたPR活動を積極的に展開したことにより、加曾利貝塚博物館のイベント参加者が大幅に増加した。8月1日以降博物館を休館したものの、史跡内での継続的なイベント開催により年間18,500人の来場者を迎えることができた。結果として、指標の目標値52,000人に対し、現状値55,518人となり目標を達成することができた。

【課題及び今後の取組みの方向性】

更なる指標の向上のため、加曾利貝塚に関しては、国特別史跡指定を目指し、関係機関との協議・調整を行うとともに、史跡内の環境整備を行っていく。また、平成27年7月1日から加曾利貝塚博物館、郷土博物館の観覧料を無料化し、さらに入館者を増加させる環境を整えた。魅力ある展示やイベントを企画・開催することにより、さらなる入館者・イベント参加者の増加につなげていく。

指標を構成する事業

計画事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	計画内容	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	加曾利貝塚の出土資料整理	出土資料の再整理	—	実施	完了	完了	達成	38,151	
2	博物館の耐震改修	加曾利貝塚博物館耐震補強	—	工事	工事	中止	中止	9,083	

その他事業

No.	事業名	主な取組項目	H23末現況	事業量(H24~26)	H26末目標	H26末実績	進捗	事業費	(千円)
1	郷土博物館運営事業	入館者数	33,216人	102,334人	34,555人	37,018人	達成	4,108	
2	加曾利貝塚博物館運営事業	入館者数	16,755人	51,632人	17,435人	9,975人	未達成	10,710	
3	ミュージアム・トライアングル	相互割引などの取組み	実施	実施	実施	実施	達成	0	